

# おしゃべり通信

No. 278 R5.2.15 発行 如春会 浦田医院



たたかれていい子どもなんて  
いないだよ



「体罰」と聞いて、あなたは何をイメージしますか？

「体罰」と聞いたときに思い浮かべるのは「頬をぶつ」「背中を棒で叩く」といった行為かもしれません。そのほかにも、長時間正座をさせたり、どこかに閉じ込めたりすることも「体罰」に該当します。加えて、怒鳴りつけたり、子どもの心を傷つける暴言なども、子どもの健やかな成長・発達に悪影響を与える可能性があります。子どもをけなしたり、辱めたり、笑いものにするような言動は、子どもの心を傷つける行為で子どもの権利を侵害します。

このような行為はすべて「体罰」です

- 言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- 大切なものにいたずらしたので、長時間正座をさせた
- 友達を殴ってけがをさせたので、同じように子どもを殴った
- 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった
- 掃除をしないので、雑巾を顔に押し付けた



直接的・身体的な行為でなくても、子どもの心を傷つけることは子どもの権利を侵害します

- 子どもの前で妻に暴力をふるった
- お前なんて生まれてこなければよかったと言った
- 兄弟と比べてお前はダメな子だといった

ただし、道に飛び出しそうな子どもの手をつかむといった子どもを保護するための行為などは該当しません。

「体罰」等により一時的に子どもが落ち着いたように感じられても、それは根本的な解決ではありません。体罰が繰

り返されると親子関係の悪化や子どもの攻撃性の増加、反社会的な行動の増加、精神的な問題の発生などのリスクが高まると指摘されています。

体罰等はよくないとわかっていても、いろいろな状況や理由によって、それが難しいと感じられることもあります。しかし、安心感や信頼感、温かな関係が心地よいのは、子どもも大人も同じです。

体罰等によらない子育てのための工夫のポイント

- ① 子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう
- ② 「言うことを聞かない」にもいろいろあります
- ③ 子どもの成長・発達によっても異なることもあります
- ④ 子どもの状況に応じて身の周りの環境を整えてみましょう
- ⑤ 注意の方向を変えたり、やる気に働きかけてみましょう
- ⑥ 肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に
- ⑦ 良いこと、できていることを具体的に褒めましょう



「しつけ」と「体罰」はちがいます

「しつけ」：子どもの人格や才能などを伸ばし、社会において自律した生活を送れるようにするなどの目的から、子どもをサポートして社会性を育む行為

「体罰」：子どもの身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為（罰）

親には子どもの利益のために監護・教育をする権利・義務があります。「理想の子どもに育てよう」「将来困らないようにしっかりとしつけなくては」「他人に迷惑をかけない子どもに育てなくては」という想いから、時には「しつけ」として子どもに罰を与えようとすることもあるかもしれませんが、しかし、たとえしつけのためだと親が思っている、「体罰」にあたり、それは子どもの権利侵害になります。

特にコロナ禍において、大人もさまざまなストレスを抱えてしまっています。その矛先が子どもへの「体罰」へ向かってしまう例もあります。保護者自身に否定的な感情が生

じたときは、まずはそういう気持ちに気づき、認めることが大切です。そして、それは子どものことが原因なのか、自分の体調の悪さや忙しさ、孤独感など、自分自身のことが関係しているのかを振り返ってみると、気持ちが少し落ち着くことがあるかもしれません。深呼吸して気持ちを落ち着けたり、ゆっくり5秒数えたり、窓を開けて風にあたって気分転換するなど、少しでもストレスの解消につながりそうな自分なりの工夫を見つけられるとよいでしょう。

厚生労働省 HP より  
文責：金柿



## 定期予防接種、受け忘れはありませんか？

～母子手帳を確認してみましょう～

子どもさんの定期予防接種はスケジュール通りに受けられていますか？定期の予防接種は公費(無料)で受けられる年齢が決まっています。その時期を過ぎると自費接種となります。今一度、母子手帳を開いて確認してみましょう。インフルエンザ、コロナワクチンも忘れずに打ちましょう！

不明点があればスタッフにお尋ねください。

<1歳になったら…>MR(麻しん風しん)、水痘、ヒブ、肺炎球菌、4種混合、おたふくかぜ(任意接種)

<3歳になったら…>日本脳炎

<年長さん>MR(麻しん風しん)、おたふくかぜ(任意接種)

<9歳になったら…>日本脳炎

<11歳になったら…>DT(ジフテリア・破傷風)

<小学校6年生になったら…>HPV(子宮頸がん)